

## 参 考 資 料

- 諸外国の公認会計士制度（試験科目）
  
- 合格者アンケート調査結果（抜粋）
  - ・ 難易度が高い試験科目（職業別・複数回答）
  - ・ 業務上必要性の低い試験科目（職業別・複数回答）
  
- I T 関連試験問題イメージ

## 諸外国の公認会計士制度（試験科目）

### アメリカ

教育要件 (すべて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学卒業</li> <li>・ 150単位以上の大学教育の履修</li> <li>・ 一定の会計科目等の履修 (会計科目24単位、経営科目24単位等)</li> </ul>
試験 (4科目)	ビジネス環境及び諸概念、 <u>監査及び証明</u> <u>財務会計及び報告、法規</u>

・ 18ヶ月以内に4科目全てに合格しなければならない

### イギリス (ICAEW)

教育要件 (いずれか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入学レベル (高校卒業試験2科目と 中学卒業試験3科目に合格)</li> <li>・ 会計技術者資格保有者等</li> <li>・ 実務経験7年以上で25歳以上</li> </ul>
知識科目 (6科目)	経営・財務、管理情報、 <u>会計</u> <u>法律、保証、税務原則</u>
応用科目 (6科目)	経営戦略、財務管理、 <u>財務会計</u> <u>財務報告、監査・保証、税務</u>
上級 ステージ (3科目)	経営変化、ケーススタディ、 <u>経営報告</u>

### ドイツ

教育要件 (いずれか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学卒業</li> <li>・ 税理士等の経験5年以上</li> <li>・ 監査法人等の経験10年以上</li> </ul>
筆記科目 (4科目)	経営・経済学 <u>監査制度、経済法、税法</u>
口述科目 (5科目)	口述発表、経営・経済学 <u>監査制度、経済法、税法</u>

・ 再受験は2回まで

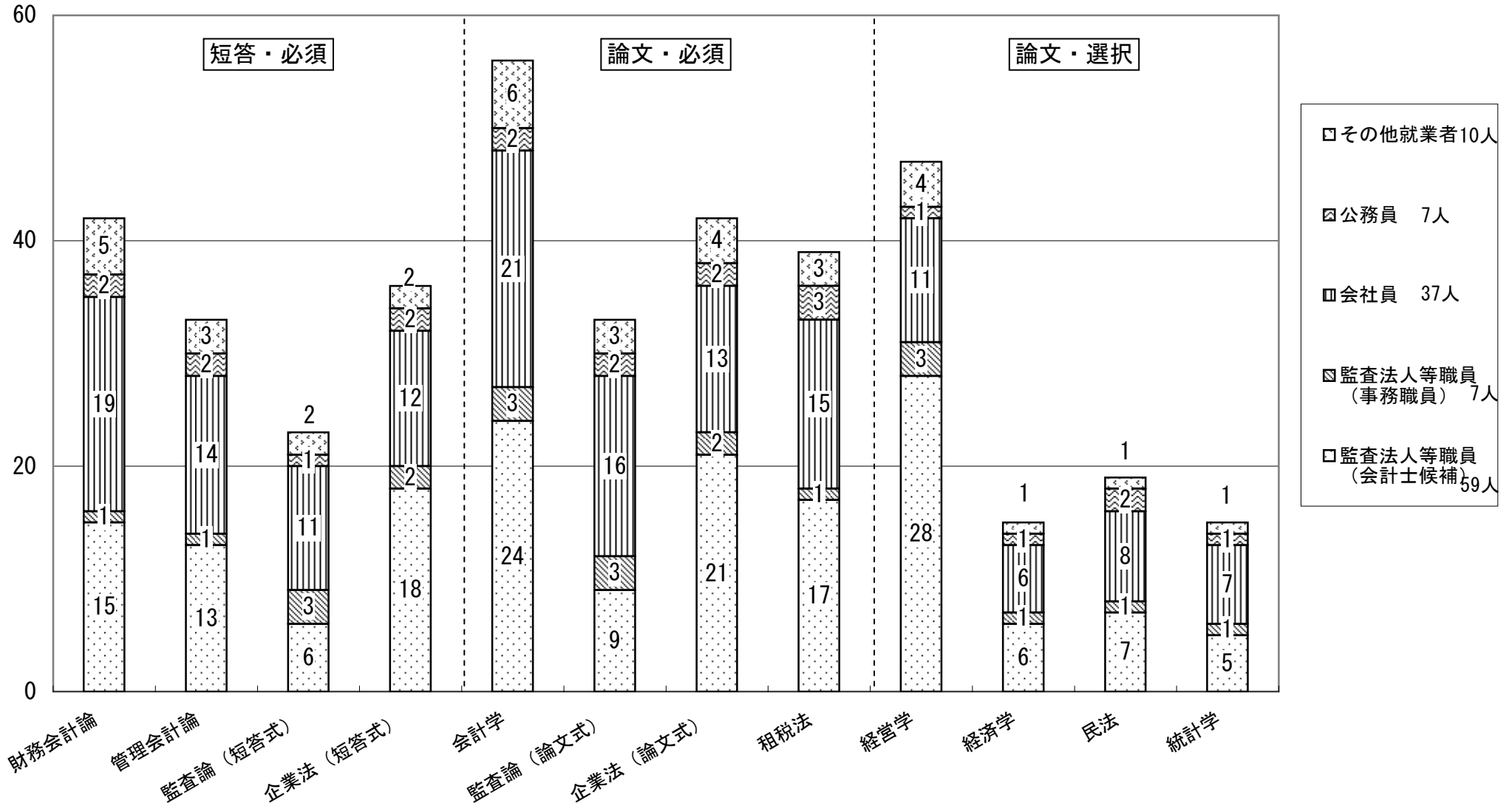
### フランス

教育要件	・ 大学入学レベル (高校卒業試験合格)
会計経営 試験 (13科目)	法律入門、社会法、経済、企業財務、経営 経営情報システム、経営管理、実務英語 <u>職業関係、会社法、税法、会計入門、会計</u>
上級会計 経営試験 (7科目)	法律・税務・社会法、財務、経営 情報管理、職業関係 部分的に英語による経済に関する口述試験 <u>会計・監査</u>
公認会計士 試験 (3科目)	筆記試験、口述試験、論文口述審査

(注) 下線部は専門科目と考えられる科目

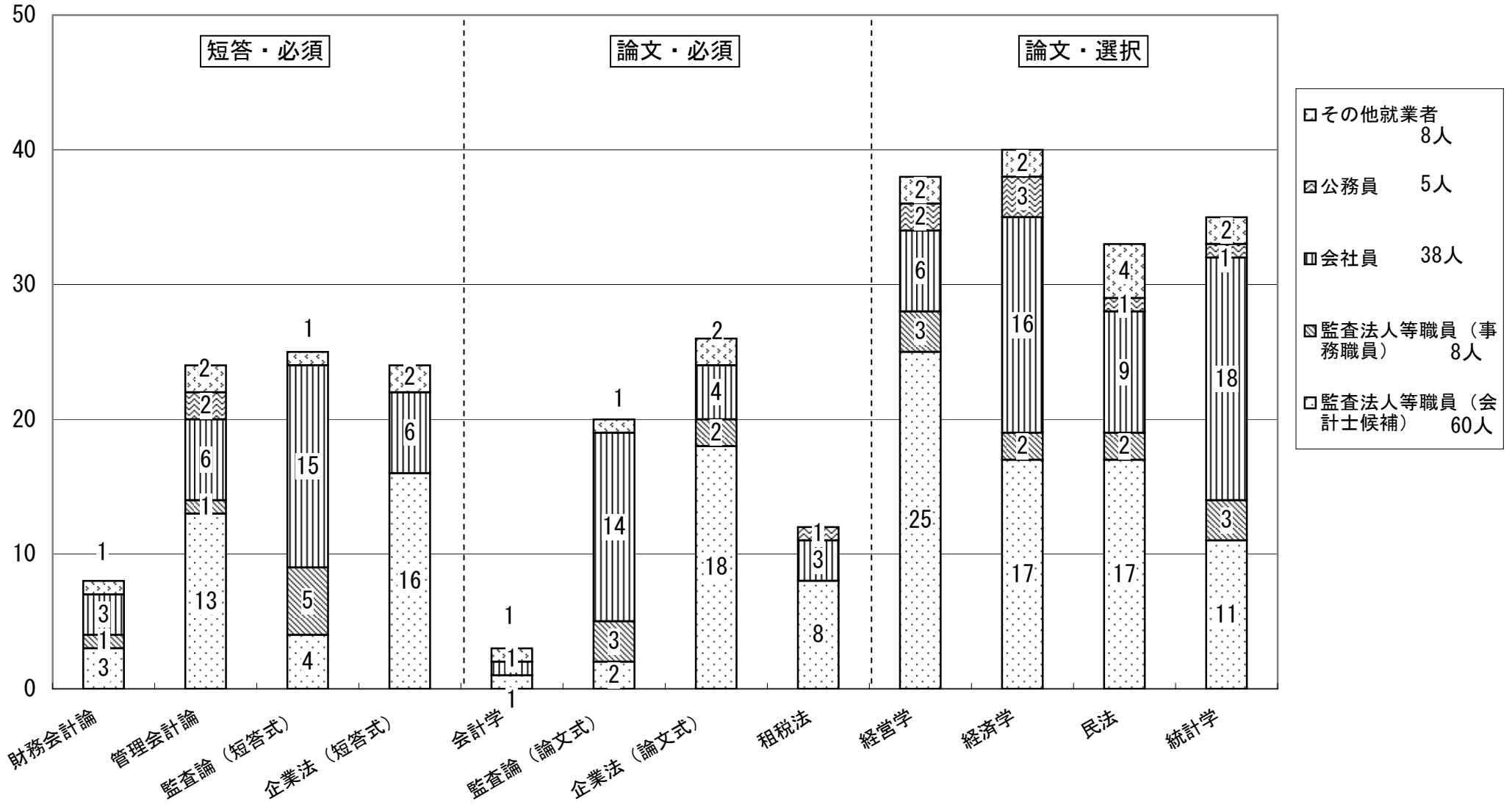
# 難易度が高い試験科目（職業別・複数回答）

対象：社会人  
 回答者数：120人  
 総回答数：400



# 業務上必要性の低い試験科目（職業別・複数回答）

対象：社会人  
 回答者数：119人  
 総回答数：288



# I T 関連試験問題イメージ

## 1. 受験生に求める知識・能力

企業の事業活動における I T 活用のウェイトがますます高まる状況下、企業内にて有用な会計人材として機能するためには、社内の情報システム部門との効果的な連携を図るために求められる基礎的な I T 関連知識を有するとともに、適切な内部統制を構築する上で I T が果たすべき役割について理解していることが求められる。

## 2. 出題内容イメージ

### ・ I T に関する基本的知識

(例題：システムの信頼性向上のために、障害が起きてもシステムを動かし続けるための対策として正しいものを、次の選択肢から 1 つ選べ)

- ア 故障しにくい装置に置き換える。
- イ システムを構成する装置を二重化する。
- ウ 操作手順書を作成して、オペレータが操作を誤らないようにする。
- エ 装置の定期保守を組み入れた運用を行う。

### ・ 会社の I T 運営全体に関する基礎知識

(例題：企業の情報セキュリティポリシーの策定に関する記述として適切なものを、次の選択肢から 1 つ選べ)

- ア 業種ごとに共通であり、各企業で独自のものを策定する必要性は低い。
- イ システム管理者が策定し、システム管理者以外に知られないよう注意を払う。
- ウ 情報セキュリティに対する企業の考え方や取り組みを明文化する。
- エ ファイアウォールの設定内容を決定し、文書化する。

### ・ 会社の個別業務処理に組み込まれた I T に関する基礎知識